

住まいの選択には サービス内容の十分な検討を

株式会社東急イーライフデザインは、東急不動産の手がける高齢者住宅の運営会社として平成15年3月に設立されました。東急不動産は会社設立以来今日まで60年間にわたり、良質な住宅を提供することを事業の中心にしてきました。介護保険制度の導入をきっかけにして、不動産業界のなかでも先駆的に「高齢者のための住まいづくり」の事業に進出しました。以来今日まで11棟・約1000戸の高齢者住宅を供給し、900人を超える入居者の方々にご利用いただいています。

基本的には自立している方に入居いただき、将来介護が必要となった場合には、24時間の手厚い介護が受けられるケアレジデンスを利用していただけるシステムを提供しています。高齢者住宅を提供し運営するにあたって一番留意していることは、「高齢者の方々の幅広い生活のニーズ」にいかに対応していくのかということです。入居者の今までの生活スタイルやご家族との関係、そして入居後のADL(日常生活動作)の変化等によるさまざまなニーズの一つひとつにたいねいに対応することが、「終の住処」として安心して生活をお任せいただける住宅に欠かせないポイントだと思います。

とくに医療・健康、介護、食事に関することはコアになるサービスであり、日々その改善に努めています。自立の方を対象としたシニアレジデンスにおいても、スタッフに看護師を配置し、入居者の日々の健康管理を行い、提携するクリニックの医師と連携することで、非常時にもできるかぎりすばやく適切に対応できる体制を整えています。さらに高度医療が必要となった場合に備えて、近隣の大学病院との提携も進めています。

介護については、できるかぎり今お住まいの住宅で生活できるように訪問介護体制を用意するとともに、24時間連続した介護が必要となった場合には、常時介

護が受けられるケアレジデンスをご用意することで、自立から看取りの段階まで一環したサービスを提供できる体制を整えています。食事サービスは、毎日の栄養バランスと充実感を得られるメニューづくりに留意し、365日朝昼晩の3食を予約なしで利用できるダイニングを用意しています。さらに、著名人によるコンサート等の文化的なイベントを開催し、生活に変化と楽しさをもたせています。たんなる住空間の提供だけではなく、そこで受けられるサービスの充実を図ることが大切なことと思っています。

高齢者のための住まいとして、介護付・住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅(以下、サ付き住宅)など、さまざまな形態の住まいが世の中に出てきました。とくに「住まい」と「提供されるサービス」が分離されているサ付き住宅に住み替える際には、そこで受けられるサービスについて検討する必要があります。前述したように、高齢者の今後の人生にとって必要なサービスは、ご自身のADLの変化によって変わってくるので、どのサービスに着目して住宅を選択するかという判断が大切となってきます。われわれ業界としても、入居者が間違いのない住宅選びができる環境づくりも行っています。

田中 康夫

たなか やすお

●PROFILE

株式会社東急イーライフデザイン代表取締役社長、高齢者住宅経営者連絡協議会幹事。

